

1. ハード施策に関する検証

(1) 将来の広場のあり方

検証結果

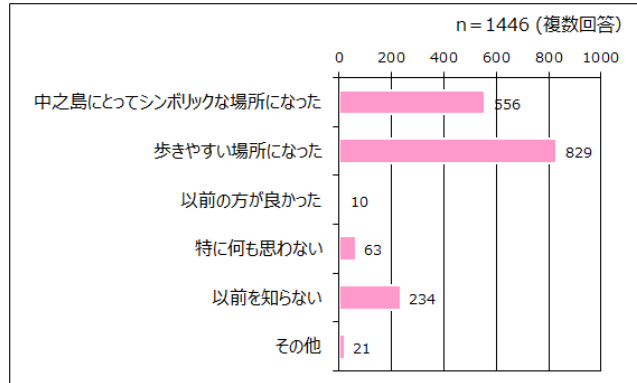
- 中之島通（東西）の公園化について「歩きやすい場所になった」「シンボリックな場所になった」といった好評価を得た
- 中之島エリアは水辺を感じ開放的で大阪のシンボルといった印象を持たれており、これらを生かした大阪の顔づくりが求められている



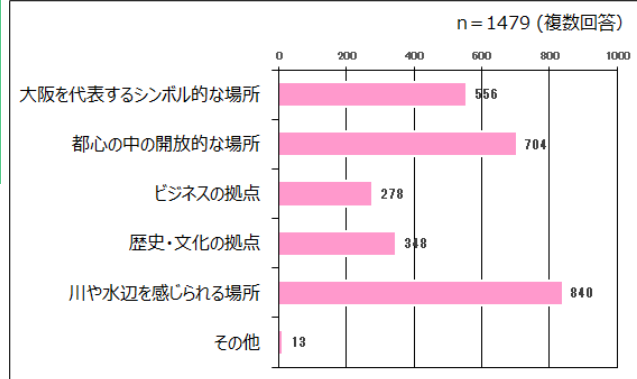
今後の方針

- 中央公会堂前を水都大阪のシンボルにふさわしい歴史・文化・水辺を感じられる開放的な広場景観をつくる

<中之島通の公園化の印象>



<中之島エリアの印象>



(2) 利用者ニーズと課題の把握

検証結果①：滞留ニーズと課題について

【アンケート調査】

- 「休憩場所がほしい」「トイレ等の充実」「安心して過ごせる空間」などのニーズをはじめ歩車道境界の柵、段差がなく歩きやすい空間へのニーズを把握

【アクティビティ調査】

- 芝生や木陰、階段等座りやすい場所での滞留ニーズを把握

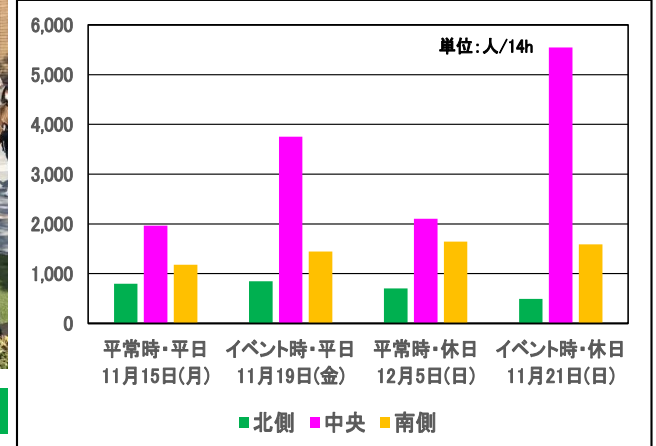
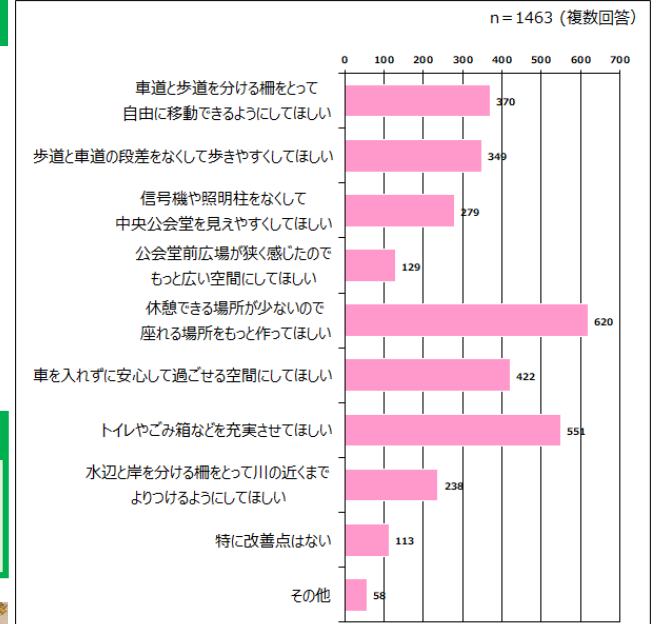


今後の方針①：滞留ニーズと課題について

- 人のための安全で快適な広場空間の創出
- 心地よく滞在することができる空間の整備



<中央公会堂前(道路)、中之島東西通り、中之島公園への改善要望>



<今後の整備方針>

検証結果②：公園内の動線について

- 中之島公園既設エリア（右図・右側写真の南側）の歩行者交通量は少ない



今後の方針②：公園内の動線について

- 水辺に向かう南側エリアへの動線強化をはかる